

災害に備えよう

災害が起こる前に、自宅の防災対策を再確認しましょう。

「避難」に備えて

避難をするときは、水や食料など必要なものを非常持出品として、持って行くようにしましょう。



「水害」に備えて

台風が来る前に風で飛ばされそうな物は事前に室内に入れたり、雨水が流れやすいように自宅周辺の雨水ますの掃除をするなどの対策をしておきましょう。



「地震」に備えて

耐震診断を受けて家の耐震性を確認し、耐震性が低い場合には改修をしておきましょう。家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの対策をしましょう。

耐震についての問い合わせ先
産業建設部
まちづくり推進課
TEL.0567-95-1111



防災情報は自ら入手しましょう

地震や大雨などの災害が発生した時、または災害が発生する恐れがある時は、防災に関する情報を、テレビ・ラジオだけでなく様々な手段で町民の皆さんにお知らせします。

- 防災スピーカー
- 広報車・消防車等
- エリアメール等

テレビ・ラジオ等

ホームページ

エリアメール等

風水害などの「風水害などの避難勧告」のサイレン

3秒吹鳴 2秒休止 ... 繰り返し5回以上吹鳴

地震「東海地震の警戒宣言」のサイレン

45秒吹鳴 15秒休止 ... 繰り返し4回以上吹鳴

ご自宅の耐震性が心配な方は、お近くの小中学校のグラウンド等に避難しましょう。

エリアメール(緊急速報メール等)

対応する携帯電話に緊急情報を一斉配信するサービスです。ご利用されている携帯会社に確認ください。

お役立ち情報

- 蟹江町ホームページ... <http://www.town.kanie.aichi.jp/>
- 気象庁ホームページ... <http://www.jma.go.jp/>
- 日本気象協会... <http://www.jwa.or.jp/>
- 愛知県川の防災情報... <http://www.kasen-owari.jp/>
- 国土交通省リアルタイム川の防災情報... <http://www.river.go.jp/>
- 木曾川上流河川事務所... <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>
- 木曾川下流河川事務所... <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>
- 庄内川河川事務所... <http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>
- 東海旅客鉄道(JR東海)... <http://jr-central.co.jp/>
- 近畿日本鉄道... <http://www.kintetsu.co.jp/>
- 日本道路交通情報センター... <http://www.jartic.or.jp/>

もし災害が発生したら

「大規模な地震」が発生したら

- テーブルの下に隠れるなど、わが身(家族)の安全を守りましょう。
- すばやく火を消し、ガスの元栓を閉めましょう。
- 屋外では狭い路地、塀ぎわ、川べりに近寄らないようにしましょう。
- 車の運転中は、揺れがおさまるまで車外に出ないようにし、車から離れたときは、キーをつけたままでドアロックしないで降りましょう。



「水害」が発生したら

- 正確な情報収集をし、危険を感じたら自主的避難をしましょう。
- 氾濫水が身近に迫っている場合は近くの堅牢な高い建物に避難し、救助を待ちましょう。(垂直避難)
- 動きやすい格好、二人以上で避難しましょう。
- 洪水時に歩く水深は50~70cmです。腰まで水深があるときは危険ですので、無理をせず救助を待ちましょう。



「火災」が発生したら

- あわてず、すぐに119番へ通報しましょう。
- 水や消火器などを使って初期消火を行いましょう。
- 火が天井まで燃え移ったら消火できません。早めに避難しましょう。
- 避難はタイミングを逃さず、低い姿勢で。
- いったん避難したら、再び戻らないようにしましょう。
- 近隣で火災が発生した時は、早めに避難の準備をしましょう。



当町は津波予報区には属していませんが、愛知県東海、伊勢・三河湾で津波情報等が発表された場合には万が一に備え、川などから離れて安全な緊急避難場所等へ自主避難して下さい。

確認が終わったら、見やすいところに保存しましょう。 **保存版**

蟹江町防災マップ

Kanie-cho Disaster Prevention Map

蟹江町 安心安全課(蟹江町役場) TEL 0567-95-1111(代表) URL <http://www.town.kanie.aichi.jp/>

いざというときに備え、日ごろから避難場所や家族との連絡先を確認しておきましょう。

【家族の行動計画表】

なまえ	ふだんよくいるところ	一時避難先(緊急避難所など)	集合場所	連絡先
蟹江 太郎	会社	△△公園	〇〇小学校	090-0000-0000

【非常持出品・備蓄品 チェックリスト】

備蓄品 災害に備えて用意しておきたいもの

防災用品

- 給水用のポリ容器(バケツ)
- ロープ
- パール
- のこぎり・工具など

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
- 常備薬(持病の薬を含む)
- 飲料水(ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分用意しましょう

非常持出品 避難する時に持って行くもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

照明等

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ・ライター

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

衣料品

- 衣類(着替え)
- タオル(大小種類)

医療用品

- 三角巾
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ(ティッシュ)
- 雨具
- お薬手帳の写し

貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

便利用品

- ドライシャンプー
- 簡易トイレ

内3日分は非常持出品へ

家族の安否確認の方法

災害発生時(震度6弱以上の地震など)にはNTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。被災地への通話がつながりにくい場合に、家族や友人などの安否の確認や連絡などに利用できます。

災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音方法: 171 (000)000-0000 (伝言を入れる)

伝言の再生方法: 171 (000)000-0000 (伝言を聞く)

被災地の方は自宅の電話番号を入力する。被災地以外の方は連絡をとりたい被災地の電話番号を入力する。

被災地の方は自宅の電話番号を入力する。被災地以外の方は連絡をとりたい被災地の電話番号を入力する。

災害用ブロードバンド伝言板 [web171](http://web171.jp/) <https://www.web171.jp/>

蟹江町防災情報メール

皆さん登録しましょう。QRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

bousai.kanie-town@raidn.ktaiwork.jp

に空メールを送信してください。

平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨を始め、近年、河川や下水道の能力を超える大雨により、浸水被害の発生する可能性が高まっています。また、東日本大震災では想像を超える大津波により、東日本の太平洋沿岸の広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。この蟹江町標高マップは、豪雨による水害や地震発生時の津波による被害を防ぐため町内の標高および現時点における避難所などを表示しました。この地図を参考に自宅や勤務先等の標高を確認し、水害や津波被害時の避難場所や避難経路をご家庭や地域の皆さんと話し合い、日ごろから災害に備えてください。

洪水・内水被害から身を守る

河川の水位や雨の量が一定の基準に達した時などを避難勧告等の情報を発表する判断基準としています。

【避難準備情報】 災害の発生を予測して「避難勧告」を発令する準備段階に入ったことを表す情報

【避難勧告】 災害が発生する恐れがあるため、避難を勧告するために発表

【避難指示】 被害の危険が目前に迫り、生命の危険がより高まったため、避難をしていただくために発表

● 危険の少ない場所に避難してください。

● 避難する余裕がない場合は4階以上の鉄筋コンクリート造の建物に一時避難してください。

※ 水防法の規定に基づき日光川、蟹江川、福田川については、河川ごとに水位情報が発表され、避難勧告等の判断基準としています。

蟹江町の日光川、蟹江川、福田川などの河川周辺地は、大雨時や洪水が発生した場合には、氾濫水の排水をすることができなくなることがあります。特にマップ中の ① の箇所は、道路の地下道「アンダーパス」を示しており、周辺の地盤より低いところを通っているため危険性の高い箇所となります。冠水時には地下道「アンダーパス」を利用しないでください。

- ① 西之森地下道... 県道津島・蟹江線(JR交差点)
- ② 八幡地下道... 一宮・蟹江線(佐屋川橋下)
- ③ 芝切横断地下道... 芝切交差点近く
- ④ 新蟹江小東地下道... 新蟹江小学校東側
- ⑤ 蟹江地下道... 蟹江小学校南側

津波被害から身を守る

津波予報の種類	予報の種類	解説	発表される津波の高さ
気象庁は、地震発生から約3分を目安に、津波の警報・注意報を発表します。	大津波警報	高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください	3m、4m、6m、8m、10m以上
	津波警報	高いところで2m程度以上の津波が予想されますので、警戒してください	1m、2m
	津波注意報	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください	0.5m

大規模地震が発生

【津波避難のポイント】

想定東海・東南海地震運動により津波が発生した場合、名古屋港には約90分で津波の第1波が到達すると予想されています。しかし、東海・東南海地震運動のエネルギーが想定を上回った場合、津波の到達時間も早くなる恐れがあります。

津波からの避難は **60分** を目安に行いましょう

避難所等を目指して

- 徒歩で避難を原則として、車で避難するのはやめましょう。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。
- 海岸や川沿いには近づかない。地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。決して近寄らないようにしましょう。
- 寄り道はしない。津波からの避難は一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、まっすぐ避難先に向かいます。

緊急避難場所はこのマークが目印です。

津波避難 3原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ

